



「世界農業遺産」

「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」による寄附講義

【授業のねらい・概要・科目の位置付け】

みなべ・田辺の梅システムが世界農業遺産に認定されたこともふまえ、世界農業遺産とは何か、当地の農業遺産のシステムと生態系の価値について、一般的な生態学の知見も交えながら、座学と現地生態系演習により習得する。地元世界農業遺産協議会の全面的な支援のもと、将来的な農業遺産のシステムを説明・活用できる人材を育成する。本講義は「みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会」による寄附講義である。

担当教員：システム工学部 環境システム学科 教授 養父志乃夫(ヤブ シノブ)
システム工学部 環境システム学科 准教授 原祐二(ハラ ユウジ)
(多様なゲスト講師・現地ステークホルダーの支援も得る)

【授業計画】 ※記載の内容、担当教員は変更することもあります。

- 第1回 12月9日(土) 午後13:00～17:30(会場：ビッグユー、現地踏査：石神梅林)
1. 世界農業遺産と日本(武内和彦・東京大学特任教授)ビッグユー
2. みなべ田辺の梅システム(養父)ビッグユー
3. 現地踏査(養父)石神梅林
- 第2回 12月16日(土) 9:00～18:00(会場：午前中ビッグユー；昼食後、午後演習：梅振興館、他)
4. 梅システムのランドスケープ評価(原)ビッグユー
5. 梅システムとニホンミツバチ(高橋純一・京都産業大学准教授)ビッグユー
 昼食(梅料理評価)
6. 梅システムの歴史(梅振興館)
7. 生態系現地演習(石神梅林)
8. ステークホルダー調査演習(石神梅林・石神氏)
 ステークホルダーミーティングおよび食文化調査(夕食交流会)
- 第3回 12月17日(日) 午前9:00～12:30(演習先：清川)
9. 備長炭生産調査(清川・原氏からの指導と意見交換)
10. 薪炭林持続性調査(清川・松本氏からの指導と意見交換)
11. 役場・協議会担当者による申請プロセス、合意形成、今後の展望の説明
- 第4回 2月3日(土) 9:00～16:00(演習先：石神梅林、会場：ビッグユー)
12. 観梅状況・ランドスケープ調査(石神梅林)
13. 班別作業(ビッグユー)昼食(ビッグユー地産地消レストラン)
14. まとめ発表(ビッグユー)
15. 梅システムの今後の展望、総括(ビッグユー)

【受講のご案内】 定員15名 ※在校生の登録状況に応じ若干名変動あり

学部開放授業は18才以上の方でしたら、どなたでも受講していただけます。
※高校生は大学授業の公開制度を利用できます。受講料、申請内容については学校にお問い合わせ下さい。締切日は別途設定されておりますのでご注意ください。
※みなべ町、田辺市に在住、在勤、または両市町に所在する組織等に所属する方は、受講費の助成を受けることができます。詳しくは、みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会(0739-74-3276)にお問い合わせください。
和歌山市の大学から先生が会場に来て授業を行います。週末中心の授業で働きながらでも学びやすくなっています。費用は1科目あたり10,000円です。初めてご登録される方は登録料7,000円が別途必要となります。

●お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9-102 和歌山県立情報交流センター Big.u 内
TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978 開室時間 10:00～17:00(日曜・月曜・祝日休み)

ホームページ <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>
メール nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

詳細はHPを
ご確認ください

